# 自治会通信 11月号

2012年(平成24年) 1 1月3日発行

発 行 所:浦添グリーンハイツ自治会

発 行 者:自治会長 松本 淳 電話/FAX:874-5977

## 防犯灯不良の連絡先

環境防犯部長

山里 一裕 877-706

## 第14回グラウンドゴルフ大会開催のお知らせ

第14回自治会主催グラウンドゴルフ大会を下記の通り開催 します。会員相互の親睦と健康増進を目指し、毎年多くの会 員が参加しています。今年もご家族揃ってご参加ください。

記

日時:11月18日(日)午前9時~12時頃

場所:前田小学校 グラウンド

【参加資格】原則として浦添グリーンハイツに居住する小学

生以上の会員(小学生は保護者同伴)

※中学生は「大人の部」とする。

【チーム編成】1チーム6名、うち1名は責任者となり、打数を記録し、大会記録係へ報告する。

※チーム編成は実行委員で行う。

【競技規則・方法】従来の自治会大会規則を適用する。前半 8ホール、後半8ホールの合計打数の少ない競技者を 成績上位者とし、個人競技とする。

【表彰】賞品は一人1個限りとする。成績上位者1位~10位 (この受賞者にはホールインワン賞の賞品はないもの とする)、当日賞、ホールインワン賞、ブービー賞あり。 賞にもれた方全員に参加賞あり。小学生はホールイン ワン賞、参加賞あり。同点の場合の順位は年上を優先 し、男女同点の場合は女性を優先する。

【参加申し込み方法】班長さんが配る<u>『第14回グラウンドゴルフ大会申込書』に必要事項を記入して11月10日</u> (土)までに班長さんに提出お願いします。

- ◎ 申し込み用紙の年齢の記入がない場合は、同点になって も、一番若い方と判断しますのでご了承ください。
- 大会準備・進行をスムーズにするため、<u>申し込みは提出期</u> 日までに、また『申込書』内容の記入もれがないようご協力お願いします。(名前はカタカナで記入)
- ◎ 雨天の場合は、体育館でレクレーションを行う予定です。

## まちづくり委員会「ふれあいガーテン」開設準備作業日誌

10月 6日(土) 9:00 小石拾い(13人)

10月11日(木) 13:30 県緑化推進委員会へ表敬(お礼)

10月18日(木) 10:30 JA沖縄理事長訪問(技術協力要請)

10月29日(月)20:00 第1回町づくりサポーター会議

10月30日(火)15:00 電気・水道など専門家との打ち合せ会

10月31日(水) 16:00 第19回まちづくり委員会

## 寺子屋情報 運動会も終わり、さあ、これからは勉強だ!

10月の寺子屋活動(地域こども学習支援活動)は、8回(8日)実施されました。公民館に来て学習をした子どもの数は27人、延べ78人でした。学習支援者のHさんは「2年生は学校で掛け算が入るので、掛け算九九をしっかりマスターさせたい」と話しています。土曜日の寺子屋では、英語の時間もあり、ビデオで「シンデレラ」を見ています。

## 平成 24 年度「赤い羽根共同募金」協力お願い

沖縄県共同募金会浦添市共同募金委員会より、募金協力依頼 がありますので、皆様のご協力をお願いします。

募金金額:500円(目安)[赤い羽根配付]

募金期間:11月4日(日)~30日(金)

## ◇ 11月の自治会活動予定 ◇

3日(土)評議員会 20:00

4日(日)草花植え付け作業 9:00

17日(土) 拡大役員会 20:00

18日(日)第14回グラウンドゴルフ大会(自治会主催)

2 4 日 (土) 家庭教育講演会 20:00

26日(月)公民館運営委員会 20:00

◎若竹会 1日(木曜会) 8日(踊り練習) 22日(定例会)

## ♪ ふれあいサロンの お知らせ ♪

29日(木) 午後1時~

『沖縄の民話とわらべうた』

## 平成 24 年度 [後期班長さん]紹介

後期 (11月~25年4月) 班長さんを紹介します。 皆様のご協力をお願いします。

1班	A	仲本 繁雄 879-4675	В	大田 匡也 878-2660
2班	А	新里 政広 877-832	В	保久村 昌治 875-7467
3班	A	宮國 貴長 878-2833	В	仲盛 隆 875-7073
4班	А	松茂良 興裕 877-6354	В	盛島 美智子 050-5806-8826
5 班	А	末吉 之利 080-6495-8925	В	銘苅 紀乃 894-2766
6班	А	比嘉 徳代 879-3084	В	玉城 淳 876-6138
7班	A	神里 昭夫 878-9586	В	赤嶺 成子 879-0640
8班	А	新城 甚孝 877-7277	В	照屋 保弘 877-0300
9班		新垣 勉 876-8057	10 班	松原 有美子 876-8239

# 平成 24 年度 結核予防複十字シール募金 結果報告 皆さまのご協力ありがとうございました。

班名	金額(円)	世帯	班名	金額(円)	世帯
1-A	6, 600	22	1-B	7, 200	24
2-A	4, 500	15	2-B	6, 900	23
3-A	4,800	16	3-B	6,000	20
4-A	5, 300	17	4-B	2, 700	9
5-A	3, 600	12	5-B	5, 500	11
6-A	3, 900	13	6-B	4, 500	15
7-A	3,000	10	7-B	3, 000	10
8-A	3, 900	13	8-B	4, 200	14
9	6, 900	23	10	4,800	16

(一世帯 300 円)

合計 87,300円(283世帯)

## ≪少年の主張大会最優秀作品≫ =紹介の前に=

去る10月3日(水)午後6時から浦添市てだこホールで、**青少年を健やかに育てる市民総決起大会**が開催されました。その中で浦添市立仲西中学校3年中村利文君の「主張発表」がありました。先の**第26回浦添市少年の主張大会で最優秀賞**(那覇地区で優秀賞)を受賞した中村君の主張は、多くの聴衆に深い感銘を与え、長~い大きな拍手が沸き起こりました。

都市化の進展とともに、地域に住む人たちのつながりや連帯感が弱くなり、様々な問題を引き起こしている現状に中村君は心を痛め、もっとつながりを大切にしましょうと自身の自治会活動の体験を通して、切実に語りかけています。静かに耳を傾けてみましょう。中学生や高校生のお子さんにも読ませてください。 ※本稿は、関係者の了解を得て掲載しています。



#### つながりの場所

#### 浦添市立仲西中学校3年 中村利文

「日曜日、ヒマ? 公民館に行こうぜ」 僕は友人らを誘って自治会の行事に参加しています。僕の住む地域、小湾自治会には、毎年恒例の行事がたくさんあります。僕は小学1年生の時からそれらの行事に参加してきました。中でも盆踊りやエイサーは、一番楽しみな行事です。祭りまでの練習、踊りの息が合った時の喜びや快感。練習後の何気ない会話にも充実感を覚えます。そして一つの行事を終えるごとに感じる達成感と連帯感。学校生活とは違う楽しさとやりがいに満ちています。

「なんで、変なぁしないで、声かけてみたらいいさ」小学 1年生の時、祖母に連れられて初めてエイサー練習の場を訪 れた僕にそんな声をかけてくれたのは、子ども会のエイサー を指導し、見守っていた地域のおじさんやおばさんでした。 その声に背中を押され、僕は地域の輪に入っていきました。 それから9年。今では小さい子たちを指導する側に立ってい ます。

中学生が子ども会? と思う人もいるかもしれません。確かに中学生にもなると子ども会や地域から足が遠のく人が多いものです。そんな中、僕がこれまで続けてこられたのは同じように行事を楽しみに思う友人らの存在があったからだと思います。「次は自治会対抗陸上だな。今年は小湾かちたいな」友人と交わすこんな会話が僕と子ども会をつないできたのです。

また、僕は地域で出会う人々から「とーしー大きくなったねえ」と声をかけられることがよくあります。これは地域行事を通して、たくさんの人々と関わりをもってきたからだと思います。そのおかげで世代を超えた知り合いが増え、日常の何気ない会話も増えました。道を一人歩くとき、掛けられ

る言葉はどんなささいなものであろうと嬉しいものです。 たくさんの地域の人々から声をかけてもらえる僕は、みんな からたくさんの力をもらっています。

最近、テレビなどでは、死後何カ月もたってから発見される孤独死や、頼る当てがなく夫婦や家族みんなで餓死して発見されるといった痛ましいニュースが報道されています。なぜそんな事態が起こり得るのでしょうか。僕は本当に胸が痛くなります。そうなるまで何か方法はなかったのでしょうか。誰か気づいてやれなかったのでしょうか。それは、現在の地域社会がその機能を失いつつあるからだと思います。隣に住んでいる人が分からない。みんな他人に無関心で自分とその家族、小さな関わりの中だけで生きているからではないでしょうか。

東日本大震災の被害にあった人々は、コミュニティー作り から始めてつながりを大事に協力し合って生活していると いいます。人のつながりがあってこそ、人は励まされ、頑張 ることができるのだと思います。人は人と関わりながら生き てゆかなければなりません。

僕たちはもっともっと地域の人たちが協力して生きてゆける社会をつくらなければなりません。人と人をつなぐもの、 それは会話であり、行事であり、子ども会のような地域社会 コミュニティーだと思います。

**僕は**今年で子ども会を卒業します。しかし、これからも 0B 会や老人会などの自治会活動に積極的に携わっていきたいと思います。そして僕が大人になったときにも地域がつながりあえる場所を残していきたいと思います。地域に住む人々がつながりを感じながら生活できるコミュニティーをつくるために。(完)

※中村君の主張をお読みになって、皆さんはどうお感じになりましたか?どんなご感想でも結構です。ご感想をお寄せください。自治会事務所(☎874-5977)

#### 第1回美らまちサポーター会議を開きました!

現在、当自治会には、20人の「美らまちサポーター」がいます。市道沿いの植栽帯など公共の場所をきれいにして、暮らしの中に「美」を創りだしていくことを志している人々です。浦添市の「美らまち推進課」が所管するこの「美らまちサポーター制度」は、平成17年に発足し、7年後の現在、サポーター登録数は2200人(内訳79団体、71個人)に増加。その日の会議は、同課の城間繁一課長及び大嶺克治係員から制度に関する説明を頂いた後、ドイツのクラインガルテン制度(土と緑にふれあう農園づくり)のDVD鑑賞会と懇親会をもちました。

# 「国際協力・交流フェスティバル 2012」 を見に行きましょう! ~沖縄国際センター~

11/10(土)・11(目) 9:30~18:00

- 10日 アイモコの音楽農園/琉球浪漫舞台/世界の歌と 踊り/「世界で活躍するウチナーンチュ」
- 11日 世界を考えるワークショップ/組踊「北山の風」 世界にお客さまをおもてなしするコツ/世界に響け ウチナーの歌/展示「世界で活躍するウチナーンチュ」
- ※催しの時間帯については、掲示ポスター及び自治会事務所でも分かります。

※お問い合わせ:沖縄国際センター【☎876-6000】